

まるとく液肥
水田 水口施用
マニュアル

目次

水田水口施用におすすめの製品	2
目的	3
①増収・品質向上	
②倒伏防止、品質向上	
おすすめの施用例	4
施工例①	
施工例②	
施用方法	5
まるとく液肥の設置例	
入水時間ごとのコック開度の目安	
試験事例	6
試験事例①	
試験事例②	
入水時の注意点	7
ブームスプレーヤーによる施用量	8
まるとく液肥 Q&A事例	8

水田水口施用におすすめの製品

まるとく液肥実り



▲コック付き

農林水産省登録 生第105482号

まるとく液肥和み



▲コック付き

農林水産省登録 生第105485号

製品名	窒素			水溶性りん酸 (WP)	水溶性加里 (WK)	備考
	窒素全量 (TN)	アンモニア性窒素 (AN)	硝酸性窒素 (NN)			
まるとく液肥実り	-	-	-	9.0	5.0	糖、亜リン酸入り
まるとく液肥和み	10.0	1.0	1.5	3.0	4.0	アミノ酸、亜リン酸入り

目的

①増収・品質向上

高温などの環境ストレスと施肥窒素の不足により、光合成能の低下や養分転流が不十分となり、乳白米が発生しやすくなると言われています。

分けつ期 : 気温上昇で生育が進み、籾数が過剰で白未熟粒が増加。

穂揃期 : 施肥窒素の不足により葉色が低下し光合成機能が低下。

登熟期 : 施肥窒素の不足により葉色が低下し糖の転流が低下。



増収・品質向上(乳白米など)には…**まるとく液肥和み**



おすすめの施用時期、施用量

施用時期 : 中干後入水2回目以降～出穂20日前
施用量 : 10～20kg(窒素として1～2kg/10a)
※出穂10日前以降の窒素施用は食味低下の恐れ
※窒素施用量が多いと倒伏しやすくなる。

②倒伏防止、品質向上

過剰施肥や気象・環境要因により、幼穂形成期前後に下位節間が伸長し過ぎると倒伏の恐れが増します。

特に高温になりやすい西日本や、倒伏しやすいコシヒカリには窒素が配合されていない「まるとく液肥実り」の穂肥施用がお勧めです。



倒伏防止、品質向上には…**まるとく液肥実り**



おすすめの施用時期、施用量

施用時期 : 出穂20日前～出穂期
施用量 : 10～20kg/10a

おすすめの施用例

施用例① 和み (増収、品質向上)

kg/10a

製品名	元肥	追肥(穂肥)		成分量kg (N-P-K)
		出穂20日前	出穂10日前	
市販肥料(14-14-14)	20	-	-	2.8-2.8-2.8
まるとく液肥和み	-	20	-	2.0-0.6-0.8
合計	20	20	-	4.8-3.4-3.6

施用例② 実り (倒伏防止、品質向上)

kg/10a

製品名	元肥	追肥(穂肥)		成分量kg (N-P-K)
		出穂20日前	出穂10日前	
市販肥料(14-14-14)	20	-	-	2.8-2.8-2.8
まるとく液肥実り	-	-	20	0-1.8-1.0
合計	20	-	20	2.8-4.6-3.8

施用方法

①事前準備

- ・水尻が閉じていることを確認して下さい。
- ・施用前には土壌がかくれる程度に水を入れて下さい。



▲水口枡

②「まるとく液肥」の設置

- ・コックを取り付け、水口に設置します。
- ・1缶(20kg)で10~20aを施用します。
(和みは窒素として2~1kg/10aの施用量になります)
- ・流し込み時間に依じて、写真や動画を参考にコック開度を調整してください。
- ・水口に直接設置できない場合はホースなどをご利用下さい。
- ・缶を逆さに設置すれば全量放出できます。

まるとく液肥の設置例

水口枡がある場合



風で容器が飛ばないように重りを載せて下さい。

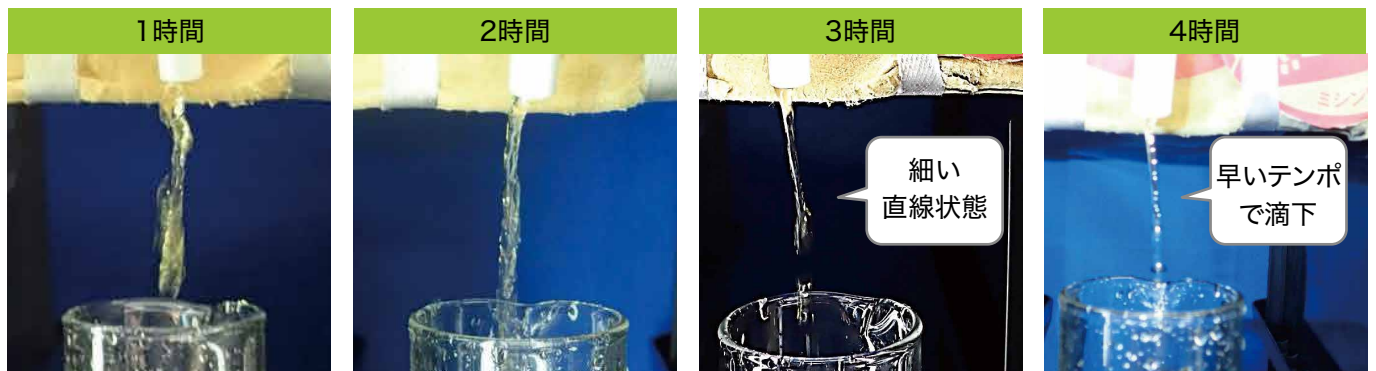
水口枡がない場合



水口の流心に届かない場合はホースなどをご利用下さい。

入水時間ごとのコック開度の目安 20kg/10a施用時

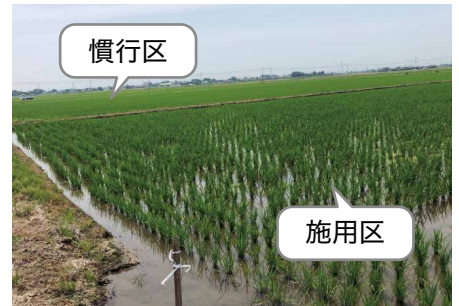
入水時間



試験事例 水田水への広がり

試験事例① まるとく液肥和み

試験場所 : 茨城県
 施用日 : 6月5日
 調査日 : 6月9日
 施用方法 : まるとく液肥和みを10a当たり10kg
 (Nとして1kg)を流し込み(約30分)
 結果 : 施用区は葉色が明らかに濃くなり
 圃場全体的に均一であった。
 使用者は大変ご満足されていた。



試験事例② まるとく液肥実り

採取ポイント0用水	
EC	0.3
WP	1.2
WK	5.5

EC:電気伝導度(mS/cm)
 WP:水溶性リン酸(ppm)
 WK:水溶性加里(ppm)

採取ポイント1用水	採取ポイント2用水	採取ポイント3用水
EC 0.3 WP 1.0 WK 7.7	EC 0.3 WP 1.1 WK 8.0	EC 0.3 WP 1.0 WK 7.6
採取ポイント4用水	採取ポイント5用水	採取ポイント6用水
EC 0.3 WP 1.3 WK 7.9	EC 0.3 WP 0.6 WK 7.6	EC 0.3 WP 1.2 WK 7.7
採取ポイント7用水	採取ポイント8用水	採取ポイント9用水
EC 0.3 WP 2.3 WK 12.8	EC 0.3 WP 1.9 WK 10.6	EC 0.3 WP 1.6 WK 9.3



※まるとく液肥実り
 20kg/10aを水口から施用
 ※水田を9区画に分けて、施用
 1日後に田面水採取・分析



分析の結果、成分は田面水全体でほぼ均一になった

入水時の注意点

入水時の注意点①

- ・ 中干直後の入水では田面のひび割れ等により均一な拡散が困難なため、2回目以降の入水時にご使用下さい。
- ・ 水口の柵がある場合は「まるとく液肥」を流入して下さい。
柵がない場合は、**水の流心付近に流入して下さい。**
- ・ **施用前には土壌がかくれる程度に水を入れておいて下さい。**



入水時の注意点②

- ・ **おおよその入水時間に対して施用時間が約半分となるようにコック開度を調整してください。**もし入水後にまるとく液肥が残った場合は施用せずに次回の入水時にご使用下さい。
- ・ まるとく液肥を残さず使い切るためには、**箱を逆さに設置することをお勧めします。**
- ・ 流し込み中に風で容器が飛ばされないよう、箱の上に石などの重りを載せて下さい。



ブームスプレーヤーによる施用量

まるとく液肥和み

※50倍希釈でも植害が生じることがあるので散布は避けてください。

まるとく液肥実り

20倍以上に希釈してご使用いただけます。

20倍液…実り 5kg(りん酸として0.45kg)/水量100L/10a

実り 1.25kg(りん酸として0.11kg)/水量25L/10a以上

まるとく液肥 Q&A事例

Q1 まるとく液肥を水口施用した際、どのぐらい落水させずに保っておけば良いですか。

A. 肥料効果を維持させるためには3日以上は水田水を保っておいた方が効果が得られやすいです。

Q2 水口が複数箇所あります。施用を分けた方がいいですか。

A. 施用を分けた方がより均一に広がります。

Q3 和みと実りを併用することはできますか。

A. 同時施用または体系施用が可能です。

Q4 10kg施用したい場合どうしたらいいのでしょうか。

A. 予め10kgに取り分けて水口施用してください。

Q5 入水が終わっても容器に液が残っていた場合の対応は。

A. 残液は施用せず、次回または別水田でご使用下さい。